

自然と暮らし、自然に学ぶ、豊かな暮らしを考える情報誌

ご自由にご覧
TAKE FREE

2019.10
Autumn Issue

#32

ふんわり

[宮城版]

収穫の秋、
やって
参りました!

手のひらに太陽の家

エネルギーの循環でリフレッシュ

くりこまくんえん

家の材料を考える

森林認証紙とライセンスを
使用して作りました。

ふんわりズム、 ふんわりスト。 ism + ist



それぞれの場所で輝きながら、
スツと立っている人がいます。
しかも、ふんわり。
そんな人たちに、会いにいきました。
ふんわりの、巻頭リレー。

うるしもの やまみちしゃ

うるしもの ヤマミチ舎 サトウシヨウタさん Shota Sato



特な形の凧を作ってみたりと、昔から守られる手しごとものに関心がありました。10年近く会社員生活をした中で、自分の手で何かを作りだすことと、地元でやっていくこと、この2つを温めて鳴子に巡り会います。鳴子漆器の師匠に弟子入りして、自分のための漆塗りの道具を作ることからはじまる2年半の修行の日々を重ね、独立しました。昔は複数の職人さんで使っていた共同の作業小屋だった建物で、いまはサトウさんの工房となっています。

サトウさんのこれからの目標は、生業としての漆の確立と、鳴子の町への恩返し。「100人にひとりでも、自分の漆器をきつかけに鳴子に来てもらえたら、嬉しいですね。」と控えめに語ります。漆塗りの技術を磨きながら、各地のマルシェなどに来店して、お客さんの手に取ってもらう機会を続けています。この秋には九州地方へ出店の旅に出て、漆器や鳴子のことを知ってもらうことを楽しみにしているそうです。お湯と自然に恵まれた鳴子の町で、サトウさんの漆塗りの日々が続いています。☑

漆や道具のことを訪ねると、次々にことばが湧き上がり、漆とサトウさんの精練されたものづくりの日々を感じました。



自分の手で作り出すこと、地元でやっていくこと。

数分歩くだけでも、あちこちから源泉の湯気が見える鳴子の町。地元の人が「山道」と呼ぶ長い上り坂の一番上。サトウシヨウタさんは2019年4月に鳴子漆器の工房を構えました。漆の器が完成するまでには、いくつもの職人さんの手を渡ります。漆掻き職人、漆専用の刷毛などの道具づくりの職人、木地師という木工の職人、「時絵」という漆の表面を彩る仕上げの技法の職人など、プロフェッショナルの分業の工程のひとつです。その工程のひとつひとつが引き継がれるための担い手は、どこ地域でも貴重な存在となっています。

仙台出身のサトウさんは、関西や関東での暮らしを経て、2016年に鳴子に移住しました。ひとつひとつ表情が違う張りのダルマを集めたり、仙台に伝わる「スルメ天旗」という独

data & information

urushimono.yamamichisha@gmail.com

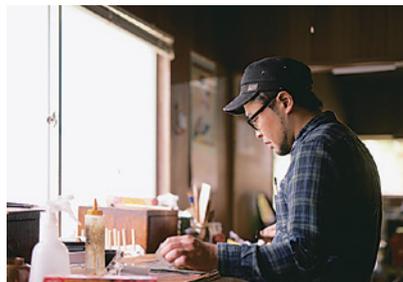
Instagram : urushimono.yamamichisha

鳴子の「日本こけし館」「喫茶さとのわ」でも商品を置いています。

fu-n-wa-ri contents



02	ふんわりズム、ふんわりスト。 うるしもの ヤマミチ舎 サトウショウタさん
04	くりこま高原自然学校 工房はひふへほ ゴッドアイ
04	すがっちコラム
05	手のひらに太陽の家 エネルギーの循環でリフレッシュ
06	サスティナライフ 森の家 森カフェ 2019
07	しんりん 森をつくる 緑の真珠 Green with Team NTT
08	くりこまくんえん 家の材料を考える
09	ふんわりレビュー ハンド・メイド・ミー 自分を手作りする
09	ふんわりグッズプレゼント
10	イベントカレンダー
12	わたしたちのこと
12	ファンワリポート! wool resin ピアス



02



06



08

編集長 ぼすとすくりふと

ラグビーワールドカップ日本大会が開催中ですね。「One for all All for one」1人はみんなのために、みんなは1つの目的のためにという意味だそうです。試合ではミスや想定外のことは起こるもの。仲間のミスを責めるより、そのミスをチームが全力でフォローする。そんなラグビー精神が好きです。

Cover Photo

天高く、子ども育つ秋。実りいっぱい森へ、しゅっぱつ!



この印刷物は地産地消・輸送マイルージに配慮したライスインキを使用しています。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときのことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便けどちょっとやさしい。どうかご理解ください。

No staples.
ホチキスを
使わずに。

工房 koubou

ゴッドアイ

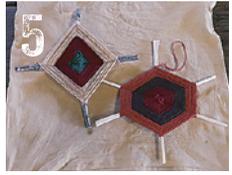
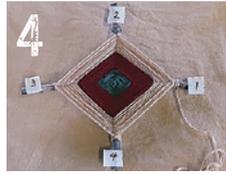


塚原俊也

くりこま高原自然学校のアクティビティ担当。運営から指導まで八面六臂の活躍。静かに燃える闘志は炭火のように強くて温かい。



材料◆材料 枝2本 毛糸



1◆枝を十字において、中心を結んで起点を作る 2◆写真のように毛糸を枝に一巻きしながら、順番に巻きつけていく 3◆途中で違う色の毛糸をつないで、引き続き巻いていく 4◆終点を毛糸を縛って完成 5◆枝が無くても割り箸で作れます。バリエーションで枝を3本使うと6角形のゴッドアイが作れます。

はのひふへほ
火 歩 平 穂
つかちゃんが見たり・聞いたり・教わってきた、暮らしに使えるクラフトをご紹介します。

SUGACCHI COLUMN

栗駒山暮らし×子育て
日記のような、手紙のようなふんわりコラム

成長の違いはあるけれど、3人の息子たちがそれぞれ新を運んで積んでくれる。三識した。



すがっち▷くりこま高原自然学校のスタッフで3児の母。自然学校で来てから、栗駒山に上り続けています。お越しの際は、いらしゃい!

子どもは冬に成長する。そして、大人も不便な環境や、苦労が多いときほど、考え工夫し、手間を楽しみ、精神力も身につくのだと思う。やることはいっぱいある山の暮らしだから、遊ぶように学び、学ぶように遊んでほしいと思ひ、時間に余計にかかると、なるべく子どもと一緒に作業をしている。我が家の息子たちが言葉を覚えはじめたころ、「えんとつ」「ポイラー」「焚き付け」という単語を口にしたのは、それだけ暮らしに身近なのだということに再認識した。

秋、新、急ぎ足！耕英の秋の空は本当にきれいだ。青く澄んだ空、薄い筋のような雲が広がる空、虹が出ることも多い。虹が多いというところは、わか雨やお天気雨が多いので、外と中を行ったりきたり。めっきりと寒くなって、日中の時間が貴重で、日の短さがとても惜しく感じてくる。夏の余韻をひきずる暇もなく、紅葉を楽しみたいけれど、やることはいっぱい、耕英の秋は急ぎ足です。

男は1歳のときから、みんなの姿を見よう見まねで新を持って運んでくれるようになります。山暮らしの意識は日に日に育っているように思える。

私の生まれた日は二十四節気の「霜降」という暦にあたる。地面に霜が降りて、冬眠する動物たちが備えを整える、という時期。ある年は10月下旬でも積雪があって、紅葉の葉っぱに白い雪という、綺麗な朝があった。美しい！けれど焦る。大人にとっては「通帳の残高よりも、薪の残高が気になる」という、笑うに笑えない迷言も生まれたこの環境。昼間に新をたくさん積んでほっとしても、夜になって寒さに耐えられずストーブを点ける。一本ずつ炎の中に消えていく薪を惜しいように使っている。こんな風に、秋の日々は忙しく過ぎて、あつという間に冬の足音が近づいてくるので



手のひらに 太陽の家

tenohira-press | 通信 |

エネルギーの循環で
リフレッシュ



今年の夏は、長雨が終わったかと思
うと猛暑続き。それでも終わってみれ
ば、なんだか夏を満喫したような気が
するの、色んな人との出会いがあつ
たからかもしれません。

遠方、近隣からの研修、合宿の大学
生、高校生、飛び込みで来られた宿泊
のお客様、交流パーティ、各種講座に
ご参加いただいたみなさま、保育園や
子ども園、公民館での出前イベント、
今年から始めた里山プチ冒険（体験付
き親子キャンプ）を楽しみに遠方から



来てくださるお客様、地球探検
隊の化石発掘体験も好評でし
た。差し入れの野菜や果物を持
つてきてくださるご近所さん。
小さい子供さんも気兼ねなく連
れてくることのできる「com
@com」は連日お子様連れでに
ぎわっていました。
人とつながることは時にはわ
ずらわしく思ってしまうことも
あるけれど、エネルギーが循環
することでずいぶんリフレッシュ
ユさせてもらったような気がし
ます。
夏を楽しませてくださった皆
さま、ありがとうございます！
た！秋も冬も春も！またお待ち
していますね。📌



「MontBell」営業しています！
楽しいイベントもあまりますよ！

手のひらに太陽の家
TEL 0220-23-9755

E-mail tenohira@kurikomans.com

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト

検索



mont-bell

ご興味のある方は
手のひらに太陽の家までご連絡ください。

手のひらに太陽の家では研修宿泊、ワークショップ、イベント時のレンタルスペースの利用
など、ご希望にあわせてご相談に応じます。ぜひ一度お気軽にお問い合わせ下さい！



9月1日の日曜日に、サステイナライフ森の会社隣の「森の家」にて、約3年ぶりとなるイベント「森の家（もりカフェ）2019」を開催しました。

今回の「森カフェ」は、セミナー形式自らも「木こり」として活躍中の、NPO法人しんりん理事長 大場隆博氏を講師に迎え、「本当の森のはなし」森と暮らし今までとこれから」というテーマでお話してもらいました。サステイナがこだわる家づくりの素材の話や、森と林業界の裏話、将来に向けてNPO法人しんりんが実践している森とのかかわり方「ハイブリッド林業」の話、そして地球環境の話など、設定していた時間を超えて、熱く語っていただきました。

セミナーの後は、美味しいカフェタイ

Sustainablelife Mori No Ie 森Café 2019

ム。セミナーの間に参加者のお子様達と一緒に仕込んでいたピザを、ワイワイしながら屋外のピザ窯でこんがり焼き上げました。

焼きたてアツアツのピザを食べながら、サステイナの施工事例スライドを鑑賞。参加者の方からも質問が飛び出し、それにお答えしたり…。楽しくお話をしながらあつという間に時間が過ぎました。

森カフェは、今回より新たに「森カフェ2019」として、継続開催していく予定です。次回からの森カフェでは、日々の暮らしにほどよく寄り添う内容のイベントを企画していきたいと思っています。

ご興味のある方は、「サステイナライフ森の家」ホームページをぜひ覗いてみてください！



自然をつなげる
持続可能で豊かな暮らし
サステイナライフ森の家

<https://www.sustainablelife.co.jp/>

木を 森と つくる

mori
o
tsukuru



緑の真珠 (気仙沼大島)

Green with Team NTT

1年目

3月
1,006本の苗木を植樹しました。



8月
夏草がモリモリに！苗を救出！



東日本大震災で気仙沼湾は文字通り火の海となりました。海上を漂う火が気仙沼大島に漂着。北側一帯に燃え広がり「緑の真珠」と讃えられる自然豊かな美しい島は大きな被害を受けました。「Green with Team NTT」は2013年、サクラやケヤキなどの広葉樹を植え、年2回の下刈のお手入れを続けています。NTTグループの方が気仙沼の支援活動に参加したことがきっかけでプロジェクトはスタートしました。森づくりの実績から理事長の大場が声がかかり、しんりんもプロジェクトのお手伝いをしています。☑

2年目



草刈の成果、成長が早いです。



大島神社の宮司ご夫妻の心からのおもてなし。手作り柚子ジュースのお振舞いでほっと一息。



しんりんスタッフは作業着のまま海へ。

6年目



すっかり背丈を超え森らしくなってきました！



まだまだ活動は続きます！



NPO法人 しんりん
☎0229-25-4668 <http://shinrin.org/>

家の材料を考える。



皆さんが家づくりを始める時に考えることはなんですか？間取り・外壁・壁…考える事が多すぎて大変ですよ。でも、家の骨である木材の事を考える方は少ないと思います。今回はそんな家の骨についてお話します。

「木」と言っても色々な樹種・種類があります。杉、ヒノキ、ヒバ、パイン、ホワイトウッド等々、日本の木のみならず外国の木も多く使用されています。日本にはたくさんさんの木があります。栗駒の杉にしても伐採時期を過ぎてしまった物が多く、切って植えての循環をしてあげる必要があります。しかし外国からの木材が大量に輸入されている為、日本の木の価値が下がり山の手入れをする人がいない状況です。どんどん日本の木を使い、日本の山を守りましょう！

そして日本の木であっても、乾燥方法により木の繊維が壊れてしまい、木の良さまで失ってしまっている木材が一般的に出回っています。「木が割れたらクレーム」と言う消費者が多い為に開発された乾燥方法ではありますが、木の持つ粘り強さまでも失い、人間で言えば骨粗しょう症の様な木材が当たり前に使われる現代です。

他にも集成材の問題点、防カビ材・防腐剤・接着剤による健康被害の問題。せっかく建てた家に住む事が出来ない方が多く存在します。

家が完成してしまえば壁に隠れて見えなくなってしまう部分も多い木材ですが、見えないからこそ、しっかりと選んで家づくりをする必要があるのではないのでしょうか。☑



KURIKOM

株式会社くりこまくんえん

〒989-5401 宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7

☎0228-55-3261 info@kurimoku.com

<http://www.kurikomakunen.jp/>

広瀬敏通 著／文
みくに出版

ISBN9784840307161

くりこま高原自然学校
塚原茉衣子



日本の自然学校の草分けといえる「ホールアース自然学校」（静岡県）の創設者、広瀬さんの自伝。1970年代、携帯電話もインターネットもなく、手に入る情報は限られていた時代。アジアの村に暮らしたり、カンボジア難民キャンプの支援員となったり、日本に戻ってからの家畜との暮らしだったり、自らの手で人生を耕していく日々の記録です。

ただひたすら汗を流して家畜や農耕に励む素朴な日々、かと思えば「日本人で初めて〇〇」というような出来事が何度も起こる、不思議な人生。平和な村暮らしでも紛争地でも、フラットな心で人と動物と生きる。健やかに食欲に、自然体で地球に根付く好奇心の塊のような人。どんなときでも行動あるのみ、実体験こそが自分の人生の道しるべ。読んでみると、野菜の種をまいてみたり、家畜と暮らしたり、旅に出たりしてみたいくなる。広瀬さんを知る人も知らない人も、『自然学校』という世界に別に興味がない人にも、一度手に取って読んでみてほしい彩り豊かな自伝です。📖



プレゼント応募はがきや、イベント時に書いていただいた、読者のみなさんからの感想やイラストを紹介します。

イラスト
「りんごの木」（栗原市・K様）

りんわりの
たんご

▷いま20歳の娘が小さい頃にこんなイベントがあったらよかったのと思ううらやましい内容です。自然の豊かさに心打たれます。（仙台市・O様）

▷内容はもちろんのこと、紙本来の柔らかさ・優しさを感じます。（一関市・I様）

▷りんわりの写真、優しくて大好きです。（栗原市・S様）

天高馬肥。



東北自然体験活動フォーラムin岩手山

☑ 11/16(土)-17(日)

「すべての子どもたちに自然体験を」というテーマのもとに、特別講師を迎えた全大会や、多様な分科会を通じて、実践に役立つスキルを学び、新たな仲間とつながる場を提供します。子どもの発育発達、アクティビティの指導例、森のようちえんカフェ、ネイチャークラフト、安全管理・ファーストエイド、自然エネルギーなど、明日からの活動や暮らしのためになる学びを共有しましょう！

12 手のひらマルシェ ～秋の収穫祭～

📅 11/9(土) 10:00-15:00

食は人の身体をつくるとともに心の豊かさもつくってきました。今回の手のひらマルシェは、秋の収穫を共に祝福し、食について考えようという会です。「ギブミーベジタブル」開催予定。



present!

1 手のひらに太陽の家
ロゴマーク入り
クリアファイルセット
A4サイズ・4色8枚セット
【3名様】📄

2 巻末の応募券と希望の番号・差出人の住所とお名前（プレゼント送り先）を書いてご応募ください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。【①ふんわりを読んだ感想（気持ちや気づき・編集部へのメッセージなど）②プレゼントを選んだ理由・使い道③ふんわりを手に入れた場所】

2 森林木香 きこり箸
【3名様】📄



3 ふんわりと同じ
森林認証紙で作った
10x10x10cmメモ
【3名様】



ふんわり
グッズ
プレゼント

詳しい情報は巻末一覧から
各団体HPをご覧ください。



森のようちえん・小学校

☑ 毎月1~2回開催

テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいく」！自然の中で、大人も子どももリラックス♪



MONフェスタ

☑ 11/11(月),12(火)

会場：くりこま高原自然学校、主催：みやぎアウトドアネットワーク(MON)。野外教育や自然体験、青少年教育に関心のある方を対象とした、学びと交流の2日間です。

スタンダードWFAくりこまコース

☑ 11/9(土)-11月(2泊3日)

WFAは「ウィルダネス・ファースト・エイド」の略称です。野外教育者のための救急法として、実践に役立つ応急救護のトレーニングです。スタンダードWFAは、はじめて野外救急法を学ぶ方におすすめのコースです。

注連飾りづくり体験

☑ 12月(日付未定)

さとのわプロデュース、鳴子温泉もりたびの会がお届けする季節のプログラム。お正月用の注連飾りを手作りしませんか。

オーガニックコーヒー手煎り焙煎選手権

☑ 10/22(火)

会場：手のひらに太陽の家 手煎り焙煎選手権を通して、オーガニック・森林農法・フェアトレードにより深く触れ、味わい、感じ、生産者と共にしあわせのコーヒータイムを楽しんでみませんか。選手権エントリーはもちろん、ギャラリー(見学)参加もできます。コーヒーを作る人、煎れる/淹れる人、飲む人すべてが豊かに幸せにつながる時間を一緒に過ごしましょう！



木こりの山仕事体験@くりこま

☑ 11/2(土)-4(月)

エコラの森で木こり体験、くりこまくんえんの製材所見学、工房とみはりの木工ワークショップ、源泉かけ流しの鳴子温泉、etc 毎年恒例、盛り沢山の破格のイベント！お申込み・詳細は天然住宅のホームページをご覧ください <https://tennen.org/>

完成見学会

☑ 10/19(土),20(日)

L型ダイニングカウンターのある家

☑ 11/9(土),10(日)

風の道しるべ〜かやの木のある家〜

ゆがふ時間

☑ 10/13(日) 10:00-16:00

会場：森の樹の家

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

						1
						2
						3
						4
						5
						6
						7
						8
						9
						10
						11
						12
						13
						14
						15
						16
						17
						18
						19
						20
						21
						22
						23
						24
						25
						26
						27
						28
						29

K くりこま高原自然学校

M NPO法人 しんりん

S サスティナライフ 森の家

T 手のひらに太陽の家

R くりこまくんえん

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリーワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校

☎ 0228-46-2626

宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1

<http://kurikomans.com/>

栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、世界谷地、湿原など大自然をご案内します。



手のひらに太陽の家

☎ 0220-23-9755

宮城県登米市登米町寺地辺室山 17 番地 1

<http://taiyounoie.org/>

東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れている復興共生住宅。環境教育、企業研修、レンタルスペースなど多面的に事業を展開中。



KURIKOMAKUNEN

(株)くりこまくんえん

☎ 0228-55-3261

宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7

<http://www.kurikomakunen.jp/>

伐採・製材・チップ・ベレットと一貫した事業を行っている、材木屋です。お客様が安心して暮らせる木材を提供しています。



NPO法人 しんりん

☎ 0229-25-4668

宮城県大崎市鳴子温泉字玉ノ木 70 番地
エコラの森内

<http://shinrin.org/>

森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な森づくりとごきりの育成を実行中。

サスティナライフ 森の家

☎ 022-725-2775

宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13

<https://www.sustainlife.co.jp/>

地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ、「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



記事執筆・お問合せ…
記事最後のアルファベットをご参照ください。

☒ くりこま高原自然学校

☒ NPO法人 しんりん

☒ サスティナライフ森の家

☒ 手のひらに太陽の家

☒ くりこまくんえん

ふんわりに広告を載せてみませんか。

詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第32号

[宮城版]

[2019年10月10日] 季刊(年4回発行)

ふんわり編集部

〒981-3225

宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13

☎022-725-2775

funwarinfo@gmail.com

twitter [funwari_miyagi](https://twitter.com/funwari_miyagi)

[freefunwari](https://www.facebook.com/funwarinfo)

宮城版 5,000部

印刷：コンカツ印刷

岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963

Funwari report ワンワリレポート!

wool resinピアス

羊毛のピアス。南三陸歌津の羊牧場さとうみファームとレジン作家の装飾具屋Ventさんとのコラボ商品です。人気のブルーは、監査室でつくった南三陸藍で染めてもらったそう。ネックレスやストラップもあり。さんさん商店街NEWS STAND SATAKEでも取り扱っています。



さとうみファーム

〒988-0452 宮城県本吉郡南三陸町歌津町向22
電話 0226-29-6379

京線で切り取り、ご希望のプレゼント番号をそえてご応募ください。
2019年12月31日までに有効

応募券